※令和４年度以降入学生用

校番号	317

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通じて考え、理解を深め知識を身につけます。友達の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通じて、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の課題として捉え、より良い生活をめざします。
・２年生では食生活・住生活・消費者としての自立について学びます。

2　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために科学的な知識を理解し、それらにかかる技能を体験的に身につける。
・生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し表現することで課題解決能力を身につける。
・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造し実践する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	食生活・住生活・消費行動や経済的自立などについて総合的に捉え、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識について理解し、それらにかかわる技能を身につけている。	食生活・住生活・消費行動や経済的自立などについて生活の充実向上を図るための問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想したり、考察したことを根拠に基づいて表現したりするなどして課題を解決する力を身につけている。	食生活・住生活・消費行動や経済的自立などに関して、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食生活を作る	1節　人と食物のかかわり	a:各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに，日本の食文化の特徴について理解できている。 b:地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて，書籍や家族などから情報を収集して調査内容をまとめることができる。	授業プリント 定期考査	レポート	
		2節　私たちの食生活	a:食事の意義や役割について，食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 c:食文化や自分自身の食生活について関心をもつとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	授業プリント		レポート
		3節　栄養と食品のかかわり	a:栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 c:食品と栄養，調理との関係において，科学的な視点をもって，知識を深めようとしている。	授業プリント 定期考査		レポート
		4節　食品の選び方と安全 5節　食事の計画と調理 6節　これからの食生活を考える	a:旬の食材にはなにがあるか，なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 a:食中毒の予防法や，食品添加物の特徴をとらえることで，安全な食品について理解している。 a:栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら，家族の献立を作成することができる。 a:調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ，献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:栄養の機能と食品のかかわり，また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ，食品選択，栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。 b:調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c:調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	授業プリント 定期考査 ワークシート グループでの話し合い	授業プリント 定期考査 調理実習 授業観察 レポート	調理実習 授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			b:現在の日本の食生活においての課題を調査などから発見し，解決の方法について，自分の考えをまとめることができる。			
2学期	住生活を作る	1節　人間と住まい 2節　住まいの文化 3節 住まいを計画する 4節健康に配慮した快適な室内環境	a:住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち，各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 a:日本の住まいの歴史や，日本の住まい方の特徴について理解できる。 b:日本各地の伝統的な住居について，建築的な工夫を見つけることができる。 a:家族構成やライフステージなどとのかかわりから，平面図を読み取ることができる。 a:住まいの文化や機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b:ライフステージと住空間の設計の関係，住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 c:住まいの文化や機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとする。 a:日照・日射・採光・照明，通気・換気，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また，住まいの清掃やメンテナンスについても理解し，快適な生活につなげることができる。 b:住まいの管理方法について，適切な掃除や頻度を考え，判断することができる。	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査 ワークシート	レポート

※令和４年度以降入学生用

2 学 期		5節　安全な住まい	a:住まいの安全対策，住まいにおける健康管理など，実生活に役立てることができる。 b:安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。 b:暮らしやすい住まいについて，住空間だけでなく，周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。〃	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査 レポート	
		6節　持続可能な住まいづくり	a:安全で快適な住まいや，社会環境・地域環境についての知識を身につけ，現在の住生活の課題についても認識できる。			

※令和４年度以降入学生用

3学期	消費行動を考える	1節　消費行動と意思決定 2節　消費生活の現状と課題 3節　消費者の権利と責任 4節　ライフスタイルと環境	a:さまざまな情報を収集しながら，自分の消費行動について検証することができる。 b:消費行動における意思決定の過程について，具体的な事例を通して主体的に考え，判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し，物・サービスの購入のあり方や，消費行動，消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。 a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 b:多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。 a:消費者の権利と責任などについて理解できるとともに，現代の消費生活の課題について認識できる。 b:消費者としての自覚を持ち，消費者の権利と責任を考えることができる。 a:家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて，生活と関連させながら課題をみつけ，解決の方向性を判断することができる。 b:環境に関するグラフなどから，生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。	ワークシート 授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査 レポート	ワークシート
3学期	経済的に自立する	1節 暮らしと経済	a:家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき，短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら，家庭の収入・支出・預金などについて，適切な考えをもち，判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら，家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について，積極的に理解しようとし，短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査 レポート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		2節 将来のライフプランニング	a:短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して，経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:将来のライフイベントとその費用を考えることができる	授業プリント ワークシート	ワークシート	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度